

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-16	中学校	社会科	社会(公民的分野)	3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	公民 017-92	中学社会 公民 ともに生きる		

1. 編修の基本方針

学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。

この教科書は、教育基本法に示された「教育の目標(第2条の第1～5号)」と、学習指導要領に示された「公民的分野の目標」を達成し、社会科のねらいである「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する」ことを目指して、以下の柱と三つの方針に基づき編修しています。



「卒業後も、何度も読み返したくなる教科書」を目指しました!

特色2

市民的教養の基礎・
基本が身につく教科書



社会の成り立ちと諸課題、その解決に向けた世界の動きを理解し、社会参画に向けて必要な技能を身に付けることができます。

【知識・技能】

特色1

社会を読み解き、
学び合える教科書

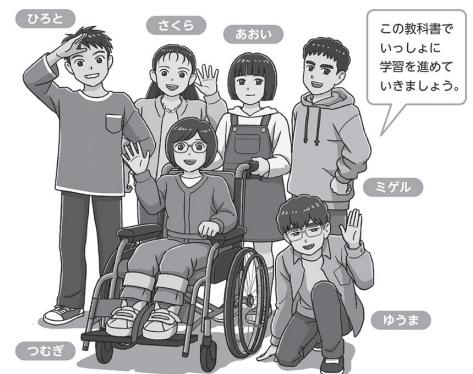


社会の諸課題を捉え、その解決に向けて協働しながら多面的・多角的に考察し、持続可能な社会の創造のために発信できる力を育みます。

【思考力・判断力・表現力等】

【育てたい生徒像】

持続可能な社会を
創造する市民の育成



この教科書で
いっしょに
学習を進めて
いきましょう。

特色3

主権者として、ともに
生きる力を育む教科書



社会に関心をもち、多様な人々と協働しながら諸課題の解決に向けて自ら行動していこうとする態度を涵養します。

【学びに向かう力・人間性等】

「何を学ぶか」「どのように学ぶか」をわかりやすく示した、基礎・基本がしっかりと身につく紙面構成

1 単位時間を見開き2ページとし、文章や資料の読解を通して基礎的・基本的な知識・技能の習得を図れるように、また、習得した知識・技能を活用して自分の考えを表現する活動が促されるように配慮して紙面を構成しています。

導入資料・中心資料

この時間の学習のきっかけや追究の中心となるような資料を「LOOK!」の解説文とともに紹介しています。

資料ナンバー

本文との関連を示しています。

THINK!

ここに示された手がかりをもとに、資料から読み取ったり、意味を考えたりします。

学習課題

この時間の学習で、何について追究していくのかを確かめられます。

参照ページ

内容が関連しているページや、参考になる巻末資料(法令集、用語解説など)のページを示しています。

3 18歳選挙権と私たち

2016年の参议院議員選挙で、およそ240万人の18歳と19歳に、初めて選挙権が与えられました。少子高齢化が進む日本の「高齢者中心の選挙」への対応とともに、これからの時代をつくる若い世代の有権者を増やし、政治への関わりを進めようという政策です。

LOOK!

2016年の参议院議員選挙で、およそ240万人の18歳と19歳に、初めて選挙権が与えられました。少子高齢化が進む日本の「高齢者中心の選挙」への対応とともに、これからの時代をつくる若い世代の有権者を増やし、政治への関わりを進めようという政策です。

18歳選挙権が実現したことで、選挙権年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられました。

選挙権の拡大

公職選挙法が改正され、2016年から18歳選挙権が実現しました。選挙権年齢を20歳以上から18歳以上に引き下げることは、日本では1945年以降の選挙制度の大きな改正となります。アメリカやイギリスをはじめ、世界のほとんどの国では、すでに選挙権が18歳以上に引き下げられています。この改正は、若者の政治参加を促すことにつながります。

選挙の課題

しかし、18歳選挙権が実現したにもかかわらず、若い世代の投票率は低くありません。20代の投票率が初めて参加した2016年の参议院議員選挙では、20代の投票率に比べれば高いものの、全体の投票率の54.7%には及ばませんでした。また、全体から見ても、投票率は長期的に低下しています。

関連するSDGsのマーク

小学校、他分野、他教科との関連

側注解説

本文の記述や言葉を補足して詳しく解説したものです。

確認と表現

「確認!」は、この時間に学習したことを確認・整理し、「表現!」は、学習してきたことを活用して表現することを促します。

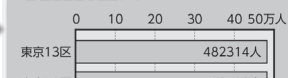
公民の窓

この時間の学習に関連したコラムです。

LOOK!

2016年の参议院議員選挙で、およそ240万人の18歳と19歳に、初めて選挙権が与えられました。少子高齢化が進む日本の「高齢者中心の選挙」への対応とともに、これからの時代をつくる若い世代の有権者を増やし、政治への関わりを進めようという政策です。

THINK!



TRY!

子どもたちが暮らしやすい地域の「まちづくり」を考えよう

▲追究のきっかけとなる視点を提示。

▲追究に使う資料の読み取り・考察のポイントを提示。

▲学習を生かす社会参画をテーマにした活動例を提示。(p.125)

公民の技

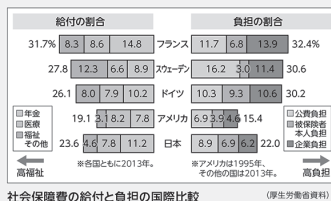
公民の学習で身に付けさせたい“技”を磨く「公民の技」

個人やグループでの活動を通じて、公民の学習で身に付けたい技能や表現力を養うコーナーを充実させています。

公民の技

給付と負担のこれからをセルフディベートで考えよう

下の図は、各国の社会保障費の給付と負担の割合を比較したものです。給付の割合は、国内総生産(GDP)に対する社会保障の部門別の割合です。負担の割合も、公費や本人負担



などの財務のGDP比を合計したものです。図を見て各国の社会保障政策の共通点や違いを考えながら、セルフディベートを行ってみましょう。

セルフディベートの論議

「日本も北欧の福祉国家のように社会保障を充実させるべきである」

セルフディベートとは、自分の立場を主張し、相手の立場を反論し、自分の意見を表現する活動です。将来の社会を構築する際には、有効な方法です。

9か所に掲載



「公民の技」を掲載した全てのページで、二次元コードから関連する内容の動画を見て理解を深められるようにしています。

p.177

社会への関心を高め、自ら行動していこうとする態度を涵養するページが充実

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点と特色	該当箇所
公民にアプローチ ～メディアを活用しよう～	○各種メディアの資料の読み取りと適切な活用法の学習を通して、生徒が主体的に幅広く情報を活用できるよう配慮しました。(1号)	p. 8~11
第1章 私たちの暮らしと 現代社会	○ルールづくりの学習活動を通して、価値観の違いや人々の関係を調整して、より多くの人々の合意が図られる社会を築いていくことの大切さを学べるよう配慮しました。(1号、3号) ○科学の発展、日本人の宗教観、芸術、継承と交流という視点に立った「伝統文化」などを学習することを通して、我が国の伝統や文化に対する興味・関心を高められるように配慮しました。(5号)	p. 28~35 p. 22~27
第2章 個人を尊重する 日本国憲法	○憲法の学習を通して、法やルールの遵守により人権や社会の安全・秩序が守られていることを深く理解できるように配慮しました。(1号) ○公共の福祉や、憲法が保障する自由と権利を守るために国民一人一人が果たすべき義務と責任について学習することを通して、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度が養われるようにしました。(3号)	p. 42~47 p. 59、 p. 66~67
第3章 私たちの暮らしと 民主政治	○裁判員制度や模擬裁判の学習を通じて、国民の司法参加の意義を理解し、将来の司法参加に向けて意識を高められるようにしました。(3号)。 ○地域の振興・活性化に向けた様々な取り組みの事例を学習することで、地域社会の課題の解決に参画しようとする態度を養い、郷土に対する愛着を深められるようにしました。(3号、5号)	p. 110~113 p. 120~125 p. 128
第4章 私たちの暮らしと 経済	○企業の社会的責任について学習することを通して、環境に配慮した企業活動が大切であることについて考えられるようにしました。(1号、4号) ○生産や企業の社会的な意味について学習することを通して、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度や、勤労を重んずる態度が養われるようにしました。(2号、3号)	p. 142~143 p. 144~147 p. 168
第5章 安心して 暮らせる社会	○社会保障制度を理解し、そのこれからのあり方を考えることを通して、主体的に社会の形成に参画する態度が養われるようにしました。(3号) ○公害問題と環境保全の取り組み、身近なごみ問題、地球規模の環境問題についての理解を深め、循環型社会の実現のために協働や個々の行動が不可欠であることを自覚できるようにしました。(4号)	p. 172~181 p. 182~183
第6章 国際社会に生きる 私たち	○環境や資源をめぐる問題、児童や女性が抱える問題などを取り上げ、それらと自分の暮らしとの関係や、持続可能な発展、人間の安全保障の考え方について考察を深められるようにしました。(1号、3号、4号) ○領土をめぐる問題や日本人の拉致など、近隣諸国との間で未解決の諸問題とともに、相互の協力や交流の事例を取り上げて、問題の平和的な解決に向けて多面的・多角的に考察できるようにしました。(5号)	p. 214~225 p. 198~201 p. 207
終章 私たちが未来の社会を築く	○私の提案「自分を変える、社会を変える」を作成する学習を通じて、地球規模の諸課題に自分なりにどう取り組むかを考えながら、これからの社会を担っていく一員としての自覚を高めることができるようにしました。(3号)	p. 230~236

3. 上記の記載以外に特に意を用いた点や特色

特別支援教育に関わる配慮	・色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに基づく配色にしています。 ・紙面でもデジタル画面でも見やすく読みやすいユニバーサルデザイン・フォントを使用しています。 ・見開き単位で資料に通し番号を示すことで、資料と本文との関係を理解しやすくしています。 ・キャラクターのふきだしの文章は、読みやすさを考慮して改行しています。
社会の多様性への配慮	・キャラクターのイラストは、性差や障がいの有無などに関わらず、多様な生徒が互いに協力し合いながら学習に取り組む様子を描写しています。また、在日外国籍の人たち、アイヌ民族の人たち、LGBTの人たちなどの社会的少数者の権利の保障をめぐる課題について理解し、考えることができるように編修しています。
用紙・印刷・造本	・丈夫で軽量かつ写真などの表現力の高い用紙を使用し、鮮明に印刷されています。 ・環境への負荷を軽減するために、再生紙を使用し、印刷は植物油インキを使用しています。 ・判型は、資料を大きく掲載できる幅広の AB判で、長期間の使用にも耐えうる堅固な製本です。
教育の ICT化への対応	・教科書に準拠した指導者用デジタル教科書、学習者用デジタル教科書(+教材)を発行します。指導者用デジタル教科書、学習者用デジタル教科書の教材版には、動画、アニメーション、フラッシュ型教材などの各種のコンテンツや機能を搭載します。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-16	中学校	社会科	社会(公民的分野)	3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	公民 017-92	中学社会 公民 ともに生きる		



1. 編修上、特に意を用いた点や特色

学習指導要領との関係

① 「問い」を軸にして課題解決的に追究していく構成

単元(章)を通して課題解決的に学習を進められるようにして、主権者・市民として必要な、課題を捉え、見通しを立て、主体的に解決していく力の育成が図られるようにしました。

① 章の学習を見通す導入ページ 「学習のはじめに」

生徒の生活体験から出発する「ウォーミングアップ! 公民」に取り組みながら、問題意識を醸成しつつ、単元を貫く課題を捉え、共有します。漫画やイラストを多用した親しみやすい資料の読み解きや活動が、生徒の興味・関心を喚起します。

④ 章・節の学習を振り返るページ「学習のまとめと表現」

各章の終わりに設けた、章全体の学習を振り返って整理するコーナーです。節の学習をふり返る「HOP!」、再び導入ページの「問い」と向き合う「STEP! 1」と、章全体の「問い」を考察する「STEP! 2」、そして、実社会の課題を探究する「JUMP!」の3段階の構成で、基礎・基本の定着と次章への準備が確実に図れます。

▼ p. 40-41



次の章へ



▲ p. 80-82



章の流れ

③ 捉え直して考察する

▼ p. 70-71



▼ p. 50-51

学習課題?

差別のない社会をつくるために、私たちは何ができるでしょうか。

本時の見通しを示す
「学習課題」

確認! 自分では変更できない事情を理由とする差別には、どのようなものがあるだろうか。
表現! 社会にある差別をなくすために、何ができるか考えよう。

本時の学習内を確認し、自分の言葉で表現する「確認」「表現」

▼ p. 54-55

② 「本時ページ」

見開き2ページ＝1単位時間の構成で、見開きごとに「学習課題」(学習の見通し)と、それに対応するスモールステップ「確認/表現」(振り返り)を設け、生徒の主体的な学習を促します。

③ 視点を変えて学習を捉え直す「特設ページ」

本時の学習内容と関連を図りながら、さらに一歩進める今日的な課題をテーマにした特設ページを設けています。「なぜ…」から始まるタイトルが、生徒の問いを引き出します。

人権・平和

憲法の平等権についての学習では、先住民族であるアイヌ民族の権利を保障する法律の制定など、我が国における人権をめぐる課題や、その解消に向けた取り組みを具体的に紹介しています。また、日本の平和主義について、沖縄県の基地問題を通して多面的・多角的に考えられるようにしています。

▶ p.50-51、52-53、76-77、78-79

環境、資源・エネルギー

地球環境をめぐる課題とその解決に向けた取り組みや、我が国の資源・エネルギーをめぐる状況と課題について理解し考えられるようにしています。

▶ p.182-183、220-221、222-223 ほか

伝統・文化

我が国の伝統文化とその継承に向けた課題や取り組みとともに、アニメなどポップカルチャーを通じた文化交流の意義について考えられるようにしています。▶ p.24-25、26-27 ほか

領土問題

我が国の領土問題・領土をめぐる課題について正しく理解できるようにするとともに、関係国との協力や交流の事例を取り上げて、問題の平和的な解決に向けて多面的・多角的に考察できるようにしています。

▶ p.198-199、200-201

社会の多様性

社会は多様な人々から成り立っていることを理解し、よりよい社会のあり方を様々な立場から具体的に考えていけるように、「自分らしく生きたい」と願う人々を支援するLGBTの当事者の取り組みなどを紹介しています。▶ p.54-55 ほか

情報

急速な情報化が生活に及ぼす影響について、具体的な事例から理解し考えられるようにしています。また、情報リテラシーが大切であることを「フェイクニュース」の事例などから考えられるようにしています。▶ p.18-19、94-95、96-97 ほか

防災・安全

災害の記憶の継承、災害時の国際支援、資源・エネルギーをめぐる課題など、災害・防災について多面的に理解し考えることができるようにしています。

▶ p.27、207、221

▶ p.121



公民の窓 新型コロナウイルス感染症対策と地方財政

2020年頃から日本国内でも急速に拡大した新型コロナウイルス感染症には、保
 有認定・特別定額給付金やワクチン接種など、多くの対策がとられました。こ
 くは地方自治体を通じて行われましたが、自主財源の確保に取り組んでい
 自治体が対策のための基金を十分に貯めていたわけではありませんで
 ら大規模な国庫支出金などが提供されました。

39か所に
 掲載

▶ p.61



公民の窓 広がる「子ども食堂」

「子ども食堂」は、家庭の事情で食事が満足にとれない子どもや、一人
 食事をとる機会が多い子どもたちのために、地域の人や自治体が主体と
 て、無料や低価格で食事を提供する場です。一人親世帯の増加もあり、
 子どもへの取り組みが、近年全国でも広がりをみせています。よ
 り子どもたちが利用できるよう、身近な地域での人と人とのつなが
 りを基盤とした取り組みが、いっそう大事になってきています。



多世代が集う「子ども食堂」(2021年)

▶ p.97

選挙権・成人年齢の引き下げ

選挙制度や消費者の権利と責任などについての理解を深めるとともに、18歳に向けて社会に参画していく意識を高められるようにしています。

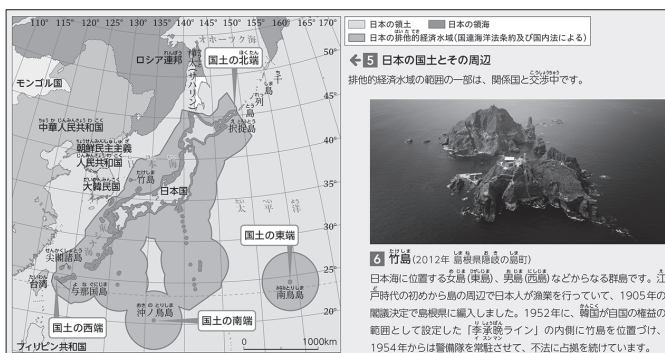
▶ p.90-91、116-117、132-133、148-149 ほか

「公民の窓」本文内容からさらに一歩進んで学びを掘り下げ、視点を変えたり広げたりできるコラムのコーナーを充実させています。



▶ p.50-51

▶ p.78-79



▶ p.199

▶ p.54

基礎的・基本的な知識・技能の習得への配慮

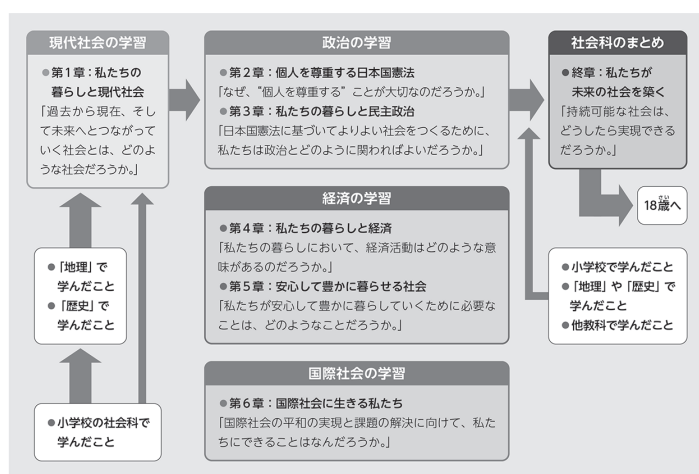
「学習のまとめと表現」 章・節の最後に設けられています。学習内容を振り返り、基礎・基本の定着とその活用を図ります。

巻末「学習資料編」の憲法・法令集と用語解説 難解な用語や補足説明が必要な事項には、丁寧な用語解説を掲載し、確かな学びを支えます。▶ p.238-259

「公民の技」 身に付けたい技能や表現力を養うコーナーを充実させています。

考えたルールを評価しよう	p. 32
死刑制度について考えよう	p. 59
ネット社会で人権を守るために	p. 69
選挙のしくみについて考えよう	p. 89
お小遣いの使いみちランキングを考えよう	p. 132
求人広告から情報を読み取ろう	p. 145
需要と供給曲線について考えよう	p. 151
株価の動きを読み取ろう	p. 157
給付と負担のこれからをセルフディベートで考えよう	p. 177

カリキュラム・マネジメントへの配慮



▶ p. 6

小・中学校、他分野・他教科との接続・連携

巻頭で小学校の学習、他分野・他教科との学習の関連や、「18歳」へつながっていく「公民学習の全体像」を示しました。学びの接続を捉え、意識することができ

▶ p. 220

見開き左ページ下「関連」には、その時間の学習内容と関連する小学校、他分野・他教科の学習を示しています。



関連 【小学校】暮らしと電気(4年)/国土の自然(5年)/【地理】世界と日本の資源・エネルギー/【家庭科】環境に配慮した消費/【理科】資源・エネルギー

教育の ICT化への対応

まなびリンク

紙面に印刷された二次元コードから各種のコンテンツにアクセスして、学習に活用することができます。

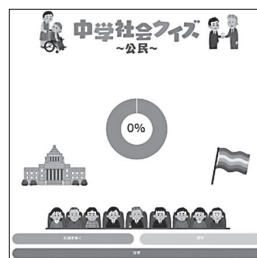


ここから見られます ↑

二次元コードを
33か所に掲載

デジタル教科書・教材

教科書に準拠した指導者用デジタル教科書、学習者用デジタル教科書(+教材)を発行します。指導者用デジタル教科書、学習者用デジタル教科書の教材版には、動画、アニメーション、フラッシュ型教材などの各種のコンテンツや機能を搭載します。



▲これらのマークは、二次元コードのコンテンツの種類を表しています。

その他

●内容の程度・分量

- ・学校教育法施行規則が定める教科の授業時数を踏まえて編修しています。
- ・内容の程度・範囲は、学習指導要領に示された内容に準拠しています。
- ・本文は見開き2ページで1単位時間を原則にしています。
- ・文章は、中学生の発達段階を考慮した、平易な表現にしています。
- ・見開き単位で資料に通し番号を示すことで、資料と本文との関係を理解しやすくしています。

●特別支援教育に関わる配慮

- ・見開きを単位とした紙面で、本文と資料をフォントやポイントの違いにより明確に区分したり、整理・パターン化したレイアウトでデザインしたりすることで、視認性がより高まるように配慮しています。
- ・色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに基づく配色です。
- ・紙面でもデジタル画面でも見やすく読みやすいユニバーサルデザイン・フォントを使用しています。
- ・キャラクターのふきだしの文章は、読みやすさを考慮して改行しています。

●社会の多様性への配慮

- ・キャラクターのイラストは、性差や障がいの有無などに関わらず、多様な生徒が互いに協力し合いながら学習に取り組む様子を描写しています。
- ・在日外国籍の人たち、アイヌ民族の人たち、LGBTの人たちなどの社会的少数者の権利の保障をめぐる課題について理解し、考えることができるように編修しています。

●用紙・印刷・造本

- ・丈夫で軽量かつ写真などの表現力の高い用紙を使用し、鮮明に印刷されています。
- ・環境への負荷を軽減するために、再生紙を使用し、印刷は植物油インキを使用しています。
- ・資料を大きく掲載できる幅広の判型(AB判)で、長期間の使用にも耐えうる堅固な製本です。

2. 対照表

教科書の単元配列	配当時数	学習指導要領の内容	該当箇所
公民にアプローチ			p. 8-11
第1章 私たちの暮らしと現代社会	【9】		p. 13
学習のはじめに	1	A(1)	p. 14-15
1節 私たちが生きる現代社会	3	A(1)	p. 16-21
2節 現代につながる伝統と文化	2	A(1)	p. 22-27
3節 私たちがつくるこれからの社会	3	A(2)	p. 28-35
学習のまとめと表現			p. 36-38
第2章 個人を尊重する日本国憲法	【17】		p. 39
学習のはじめに	1	C(1)	p. 40-41
1節 日本国憲法の成り立ちと国民主権	3	C(1)	p. 42-47
2節 憲法が保障する基本的人権	11	C(1)	p. 48-73
3節 私たちと平和主義	2	C(1)	p. 74-79
学習のまとめと表現			p. 80-82
第3章 私たちの暮らしと民主政治	【18】		p. 83
学習のはじめに	1	C(2)	p. 84-85
1節 民主政治と日本の政治	5	C(2)	p. 86-97
2節 三権分立のしくみと私たちの政治参加	8	C(2)	p. 98-115
3節 地方自治と住民の参加	4	C(2)	p. 116-125
学習のまとめと表現			p. 126-128
第4章 私たちの暮らしと経済	【17】		p. 129
学習のはじめに	1	B(1)	p. 130-131
1節 消費生活と経済活動	3	B(1)	p. 132-137
2節 企業の生産のしくみと労働	5	B(1)	p. 138-149
3節 市場のしくみとはたらき	2	B(1)	p. 150-153
4節 金融のしくみと財政の役割	6	B(1)、B(2)	p. 154-165
学習のまとめと表現			p. 166-168
第5章 安心して豊かに暮らせる社会	【8】		p. 169
学習のはじめに	1	B(2)	p. 170-171
1節 暮らしを支える社会保障	4	B(2)	p. 172-181
2節 これからの日本経済の課題	3	B(1)、(2)	p. 182-189
学習のまとめと表現			p. 190-192
第6章 国際社会に生きる私たち	【14】		p. 193
学習のはじめに	1	D(1)	p. 194-195
1節 国際社会の平和をめぐって	6	D(1)	p. 196-209
2節 国際社会が抱える課題と私たち	7	D(1)	p. 210-225
学習のまとめと表現			p. 226-228
終章 私たちが未来の社会を築く	【3】		p. 229
1節 持続可能な未来の社会へ	3	D(2)	p. 230-237
学習資料編 用語解説 さくいん	計86 (予備 14)		p. 238-255 p. 256-259 p. 260-264